

都城市立図書館

〒885-0071 宮崎県都城市中町16街区15号
電話 0986-22-0239 ファクス 0986-22-0251
info@mallmall.info
<http://mallmall.info/library.html>

利用案内

開館時間 9:00~21:00
閉館日 定期休館なし（ただし、施設の保守点検、図書整理等に伴い臨時休館することがあります）

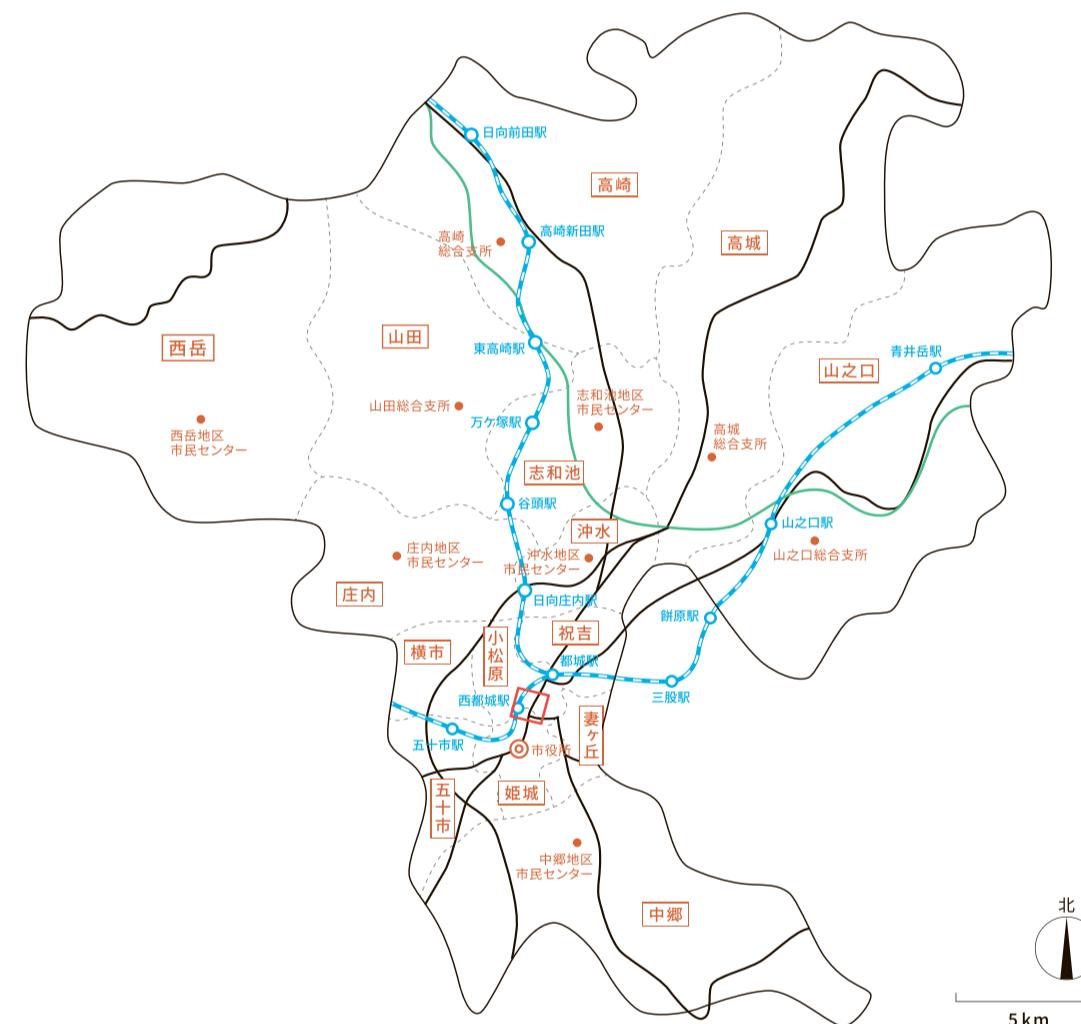
赤ちゃん連れの方・お身体の不自由な方へ

ベビールーム（授乳室）、おやこトイレ、だれでもトイレがあります。ようこそデスクで、貸出用車椅子、貸出用ベビーカー、AED（自動体外式除細動器）を備えています。
お手伝いが必要な方は、入り口にあるインターフォンでスタッフを呼び出してください。
目の不自由な方で館内への案内が必要な場合は、視覚障害者誘導用ブロックに従って、ようこそデスクにいらしてください。
活字文書読み上げ装置、拡大読書器、スタンドルーペを備えています。

諸元データ

敷地面積：5,366 平方メートル
建築面積：4,815 平方メートル
延床面積：8,046 平方メートル（未来創造ステーション部分は除く）
座席数 500 席以上、所蔵資料約 30 万冊（うち、開架約 14 万冊）

都城市全図



図書館周辺市街地



交通

電車：JR西都城駅から徒歩12分 タクシー4分
車：鹿児島方面から 国道10号「中町」を右折し、次の交差点を左折すると標識あり
高城方面から 国道10号 鹿児島銀行前を左折し、次の交差点を右折すると標識あり
中核施設附帯駐車場218台 図書館利用者は最長3時間（2施設以上6時間）無料
バス：市立図書館前「中央待合所」「中央通り」バス停下車すぐ

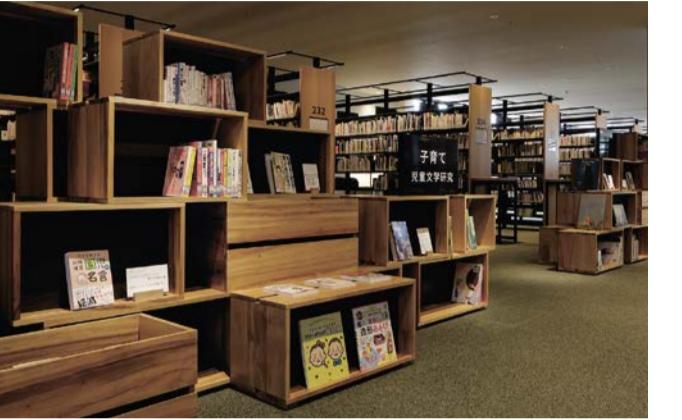
空間の記憶

既存の社会資本の有効活用がますます求められています。図書館の建物も、ショッピングモールとしてつくられた建築の再生（リノベーション）であり、転用（コンバージョン）です。転用とは、言い換れば「見立て」です。「見立て」とは物事の意味の創造的な読み替えであり、日本の美学もあります。例えば、枯山水庭園において敷き詰められた白い砂利は、川や水面に見立てられます。今回は、ショッピングモールを図書館に「見立て」たと言えます。かつての商業施設は構造体を残して解体され、内外装が更新されて公共施設=図書館として生まれ変わりましたが、その空間自体にも、わたしたちのまちの歴史や記憶が宿っています。図書館内のそれぞれの場所が、ショッピングモールのどんなところだったのか想像し、思い出しながら、散策してみてはいかがでしょうか。



家具がつくる空間

ショッピングモールの大空間を生かして壁はなるべくなく、書架をはじめとした大小の家具によって、多様な場を生み出すデザインとしています。プレースタジオの展示台や、MAGAZINE WALLのような特徴的な家具に加え、野菜や果物を入れる市場の木箱のように、自由に並べ替えることのできる木箱架を、都城家具工業会の協力のもと開発しました。全国の約80%が九州に生産している、防虫効果のあるクスノキの特徴的な木肌を生かした箱型の書架です。おすすめ本を並べたり、季節やテーマに応じた配置をしたり、創造性に富んだ図書館の象徴ともいえます。その日の木箱架に並んだ本やメッセージカードを眺めながら歩くだけでも、きっと多くの発見があることでしょう。



発見と創造を支える空間

人々が自由に行き交い、個々の興味に応じた「だいじなもの」の発見を支える場の実現のため、中心を貫く廊下部分を人々が通らざるに交う市場のストリートに見立て、木箱架がずらりと並ぶ楽しいショッピングフロントをつくりました。ストリートを散策しながら、ふと一冊の本に惹かれたら、あたかも専門店に足を踏み入れるように、ぜひその奥へお進みください。分野ごとに明確に分類し架設された一般書架が整然と並んでいます。インテリアは、地場産材を中心とした杉やクスノキの素の木材の存在感が最大限感じられるよう、素材や配色を慎重に検討しました。例えば、1階は黒・グレー系で内装をまとめ、ホテルのラウンジのような落ち着いた色調のなか、木製の家具や本が浮き上がるような空間とされています。利用者のみなさんとともに、地域の文化や記憶を継承し、新たな創造を育む図書館にふさわしい場に発展していくことを願っています。

アイダトリエ 会田友朗（空間デザイン総合監修）



Mall Market



カフェショップについて

小さな店舗なのに、「市庭（いちば）」という名前です。おかしいですか？でもこれには理由があります。市庭には、「いいもの」を誰かに届けたいという人が集まります。市内で「いいもの」を生産している人（1次産業者）、「いいもの」に加工している人（2次産業者）、「いいもの」を扱っている人（3次産業者）。みんなが連携（6次産業化）して、みやこんじの「いいもの」を見つめ合っていく場。いいものを見つけに人が集い、食を通じて交流し、新しい地域の姿を創造していきます。



MIYAKONOJO CITY LIBRARY

都城市立図書館

ひとりひとりが
『だいじなもの』を
みつけていくために

だいじなもの。

それは、思い出だったり、美しい場所だったり、
憧れるモノだったり、大切な人だったり、
継いでいくべき技であったり、
夢や希望といった見えないものもある。

ひとりひとりが自ら『だいじなもの』を見つけていく活動、
表現していく活動――

これが、日々の暮らしをいきいきとさせ、

地域の文化や生業、まち、風土といったものの
継承や発展、より独創的な創造につながる。

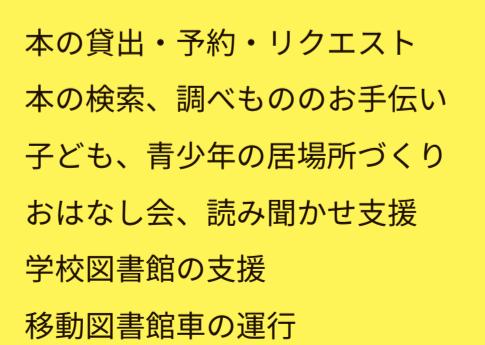
そのため、私たちの図書館。

「本は書かれている内容より、読んだときに『名付けようもない大事なもの—something』を思い起こすことがある。それが大切だということを、この歳になって、ようやく気づきました。」

（長田 弘 2011年講演会「本とは何か」より。1939~2015、詩人、児童文学作家、文芸評論家、翻訳家、随筆家）



サービス一覧



団体貸出、文庫活動支援
本の貸出・予約・リクエスト
本の検索、調べもののお手伝い
子ども、青少年の居場所づくり
おはなし会、読み聞かせ支援
学校図書館の支援
移動図書館車の運行

シンボルマーク

ショッピングモールとしてつくられた建物が図書館に生まれ変わりました。そこでMALLという文字を使った丸い形のシンボルマークが、中心市街地中核施設の愛称Mallmallのロゴデザインや図書館内のサイン表示を担当したグラフィックデザイナー井口仁長氏によってデザインされました。

生きがい・広がる・図書館。
Miyakonojo Augmented Library for Living

ようこそデスク

2つの入り口に入ると見えてくるのが、ようこそデスクです。図書館内やさまざまなサービスのご案内をいたします。「この本はどこですか?」「こんなこと、できますか?」とお気軽に声をかけてください。



案内台

幅2m25cm、奥行き1m50cmという大きな平台上に描かれた館内マップ。この前で、「今日はどこに行って何を見つけるかな」と考えてみてください。そんな「心のチェックイン」をおすすめします。もしも思い浮かばない時は、天井から吊り下げられたメッセージカードが、イベントや企画、書架を紹介してくれます。

見つけるスタイルいろいろ

インデックス【さくいん】

百科事典や図鑑のうしろに付いている、項目名のあいうえお順、ABC順で掲載ページが引ける索引。インデックス【さくいん】は図書館内の索引です。4面で最大約2600語を並べることができます。でも、図書館は小宇宙のようなもの。ここにあるすべての言葉は天文学的数字。そこで、多くのひとにとって知りあへべきこと、ある特定のひだだけれども役立つ大事なこと、知らないことなど、流行っていることなど、定期的に言葉選び、足したり引いたりしながら、生きた索引をつくっていきます。

インデックスワード

並べられたインデックスワードを眺めてみましょう。知りたい言葉があれば探しめてみてください。気になるものが見つかったら、手に取ってください。裏面がスタンプになっているので、持っているノートやメモ用紙にポンと押して、あなた自身が気になる言葉を収集することができます。文字の下にある2次元バーコードで、館内にあるタブレット端末「大事なものメモリ」や、お手持ちのスマートフォンなどの2次元バーコードリーダーアプリから、館内や本をご案内します。

大事なものメモリー

大事なものメモリーは、館内にある本や資料についているバーコードや、インデックスワードの2次元バーコードを読み取ることができます。本に関する情報や書架番号などを表示します。

さらに、図書館利用カードの裏面にあるバーコードとパスワードを入力してログインをすると、その本を気になるリスト、大事なものリストに入ることができます。また、読んだこと、調べたことをアクション履歴として記録しておくことができます。(2018年7月、サービス開始予定)

アクションによってポイントが貯まるので、個人の活動指標として楽ししながら図書館を活用してください。

検索機
本を調べるためのタッチパネル式のパソコン端末です。

インターネット端末
インターネット上のウェブサイトを調べるためのパソコン端末です。

展示台

展示台では、プレススタジオで編集した地域の情報や館内の活動記録を、シートや冊子、パネルで展示。市内の他施設・機関、周辺地域、全国で発行されたもので共有しておきべき資料を並べることもあります。使われている木材は、宮崎県木材利用技術センターで研究されている県産の杉板を材料としたCLT(Cross Laminated Timber: 直交集成板の略称)と呼ばれるもので、中高層建築物等への利用が期待されている建材です。その研究過程で発生した残材をいただき、木目や肌触りを感じる心地いい展示台によみがえらせました。

地図黒板

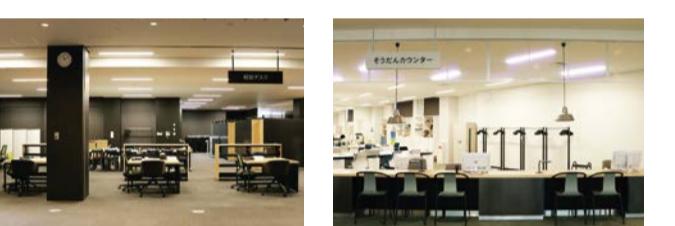
都城市全体の地図と、図書館周辺を拡大したまちなかの2つの地図が描かれた黒板です。地図の前ではさまざまな話し合いが行われ、時にはチヨークで新たな情報が書き加えられていきます。集められ、検討された地域の情報やデータベースへのリンク先を、地図上の位置にマグネットで貼り付けておくこともできます。



相談デスク／そだんカウンター

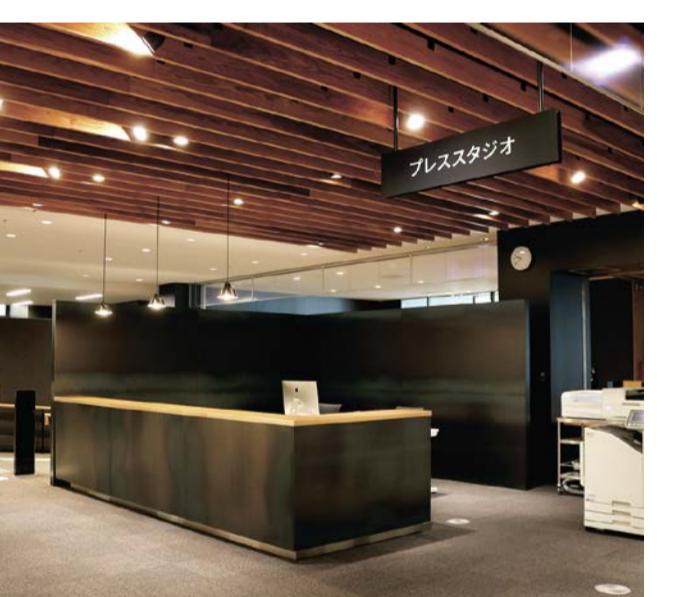
図書館がとても重要なと考えているサービスに「相談」があります。本に関する相談や、どのように調べたらいいかがわからないような情報に関する相談などをお受けいたします。

1階には3席の個別の「相談デスク」、2階にはゆったりとした「そだんカウンター」をご用意しています。



プレススタジオ

これまで知ることを支えてきた図書館ですが、実は「知ること」と「表現すること」は表裏一体です。そこで、図書館に、表現することを支える場所をつくりました。それがプレススタジオです。ここではさまざまに表現されたものが生まれ出され、さらに知る機会を広げていきます。編集者、ライター、デザイナーなどのスタッフが、「大事なもの」をまとめていく表現活動をお手伝いいたします。特に地域や社会の資産にもなるような形への編集・共有支援を積極的に行っていきます。



聞き書き

質問しながらそのひとの言葉を書き留めていく「聞き書き」。図書館でも聞き書きの手法を使い、ひとりひとりの中にある「だいじなもの」を記録していく活動を行います。その第一人者である作家の塩野米松氏の協力により、全国の市民グループが制作した作品を集めた「聞き書きエリア」もあります。

プレビュースタジオ

「プレビュー」とは映画・映像作品の試写を行うこと。プレビュースタジオはプレススタジオや対面朗読・編集スタジオで制作された映像・音声・写真スライドなどのコンテンツをより多くのひとに視聴して頂くための空間です。

ギャラリーA, B

展示、映画上映、講演、研修、シンポジウム、ワークショップなどを行います。2室一体利用することもできます。イベントがない時には閲覧、学習席や、コミュニケーションスペースになります。

折り畳めるひとり用テーブル60台、スタッキングチェア100脚、展示用パネル10台、プロジェクトター、ミキサー、アンプ、スピーカー、ワイヤレスマイク、映像プレーヤーなどを備えます。

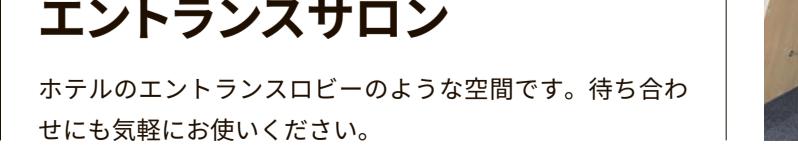
ブックマスター

通称エヌプレッソ・ブック・マシンなどとも呼ばれている、簡単自動製本機です。折りやパンチ、ステープルなどの加工まで自動化できます。プレススタジオでオリジナル小冊子をつくる時に使用します。



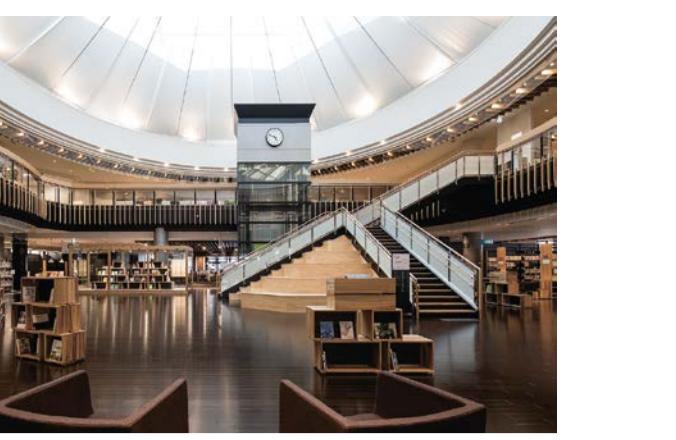
データベース

取材やオリジナル資料の制作を行う過程で、文章や写真、映像、音声などの素材が生まれます。これらをデータベース化し、著作権や利用ルールとともに格納、管理していくきます。こうして、貴重な素材を権利を侵害することなく、条件の範囲内でいつでも利用することができます。



エンタランスサロン

ホテルのエンタラスロビーのような空間です。待ち合わせにも気軽にお使いください。



ホール

建物の中央にある、天井からやわらかく自然光が降り注ぐ吹き抜けの広場的空間です。ここでは、時には講演やワークショップといったイベントも行っています。

図書館内は、「静かにしていなければ居られない」ということがないように、基本的に静寂をめざす、多くの方が心地よいと感じる中庸な環境を目指します。ページをめくる音、キーボードを打つ音、子どもの声も自然な、みんなの居場所です。

ショーケース

ようこそデスクの前に、杉角材フレームと強化ガラスに囲まれた幅約2m、高さ約2m、奥行き約6mの展示ケース。



歩いて楽しいストリート

かつてのショッピングモールの中の通りは、歩くことで新たに何かを見つける楽しいストリートでした。通りに並んだ専門店の店先には、店内にあるものがわかるような展示、おすすめのものが並べられていました。よみがえたストリートの「店先」には、マルシェの木箱をモチーフとした偶然の出会いのある木箱架が並んでいます。



上原文庫

都城市出身の上原勇作氏の陸軍大臣就任を記念して設置された文庫です。明治・大正・昭和初期に発行された貴重な書籍や雑誌類が保管されています。



市内施設ボックス

ホールに円形に配置された木箱架では、市内にある施設を紹介しています。各施設のみなさまにご協力を頂き、施設からのお知らせ、イベントの情報、チラシ、サービスの紹介、オススメの本などが置かれています。ホールをぐるりと歩けば、市内の施設のことが一通りわかります。



閉架書庫

1階南側エアリには閉架書庫があります。限られた書庫の収蔵能力を高めるためにレール上に書架列を可動させる電動式密集書架で資料保存を行っています。



年表書架

2階の円弧の形の書架には年代順に歴史の本が並べられています。上段が日本、中段が都城市周辺、下段が世界。まさに歴史年表のような書架。でも直正、中段では出版されている本がとても少ないです。ここにいっぱいオリジナルコンテンツが置かれています。ブレススタジオでの制作活動にご協力ください。

静かな部屋

本を読む際に静かさを大事にされている方、静かに読みたい気分の時にご利用頂くスペースです。パソコンのご利用もご遠慮頂いています。



国際交流エリア

都城市と友好交流都市提携を行っている中国重庆市江津区およびモンゴル国ウランバートル市をはじめ、世界の国々の方との交流、市内に在住する海外出身の方に役立つ資料が置かれたエリアです。



こどものにわ

幼児から児童まで、子どもたちが自由に使えるガラス張りの「にわ」です。子どもの感性を育む活動「こどものにわ」を主宰するアーティスト櫛田拓哉氏が監修する「感性を育む道具箱」が置かれています。道具箱や本を通して「これなんだろ？ やってみよう！」から「できるかも！」子どもも自ら思い、成長していく経験の場。本に描かれている絵の色や形、紙にどんどん興味が広がります。

対面朗読・録音スタジオ

目の不自由な方への、図書や雑誌、お持ちになつた製品取扱説明書、手紙などの対面朗読、情報の音声化やコンテンツ制作に伴う録音・編集作業を行なう部屋です。



おだやかな席

ほどほどの静かさ、ほどほどののどかさ、ほどほどの自由さのある閑観席です。お手持ちのパソコンもご利用頂けます。



プロジェクトスタジオ

プロジェクトスタジオは、市民による市民のための活動を行なう部屋です。生活上の不便の解決、楽しい取り組み、交流イベント、未来のための新しいアイデアなど、地域によりよくする活動をプロジェクトとして実践していく場です。



おべんとうコーナー

滞在できる図書館として、お弁当が食べられる場所です。清潔に保つため、ゴミはお持ち帰り頂いています。



携帯電話通話

1階カフェ前の通路、および2階トイレ前の通路で通話できます。



Fashion Lab.

「ファッションブランドデザインが生み出されていく研究工房」という設定でつくられたティーンズスタジオ内にあります。

手作業を活かした染めやプリントを施した服づくりに定評があるファッションブランド「spoken words project」が全面協力。Tシャツやワンピース、バッグなど身につけるもののプリントデザインや形、使い方を考え、実際にものを作りあつたり作ったりすること(内略)をやられてもらえないかった子どもは、コミュニケーションの環境の改善に自分が関わることができると、関わるべきであるという気持ちをもつことが少ないようです。(ロジャー・ハート著、木下勇ほか監修、IPA日本支部「子どもの参画」萌文化、2000、30ページ)



1F
2F

メモカード

購入する本を選択することを「選書」といいます。選書は図書館にとって最も重要な選択肢があるのだろうか、「そんなあなたへ」と語りかけるメッセージカードが本に添えられています。図書館であなた宛てのメッセージをぜひ見つけてください。読みまれることを待っている本たちを紹介してくれます。



BM書庫と作業室

BMとはブックモービルの略で、移動図書館車のことです。市内の各地域に本を届ける大事な作業を行なっています。BMは、本をたくさん積み込んでいてとても重いので、運搬には細心の注意を払ってゆっくり走っています。道端で見かけたら、応援よろしくお願いします。



MAGAZINE WALL

雑誌エリアには、所蔵する約160タイトルの雑誌が壁一面に並んでいます。バックナンバーもすぐ下に積んであるので、見つけやすく、さっと手に取ることができるようになっています。これまでには意識したことなかった雑誌にたくさん出会ってください。



書架の分類のはなし

日本の多くの図書館で用いられている分類法は、「0」から「9」の数字を用いる日本十進分類法(NDC)。たとえば、「文学」は「9xxj」、「日本文学」は「91x」、「日本文学の小説・物語」は「913」といったように小数点以下まで細かく分類されています。本図書館でもNDCを採用し、整然と並べることによって検索性を高めつつ、木箱架での例示によって直観性も確保しています。

また、日常的によく使うテーマは、NDCを用いないがらも本屋さんのように独自の分類で配置しています。

